

きんもくせい

24時間365日、 脳卒中治療に全力を尽くす!



▲ 豊富な手術症例を積み重ね、チームを率いる市橋副院長兼脳血管内治療センター長（右）

脳卒中（脳血管障害）には、脳の血管が詰まる「脳梗塞」、血管が破れて出血する「脳出血」や「くも膜下出血」があります。いずれも命に関わる疾病で、麻痺や歩行障害などの後遺症が残ることも多いです。それぞれの症状や部位に応じて様々な治療法がありますが、当院では脳神経外科医5人を中心に24時間365日、脳卒中に立ち向かっています。

今後も、一刻を争う患者さまへの迅速かつ高度な医療を提供するため、全力を尽くしてまいります。

P.3の「診療科から」に脳神経外科の記事を掲載しましたので、あわせてご覧ください。

〒436-8555 掛川市菖蒲ヶ池1番地の1 ☎0537-21-5555

ホームページ <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の院内報をホームページでご覧いただけます。

中東遠

スマートフォン・タブレット
からアクセスする際にはQR
コードをご利用ください



色でこころのストレッチをしてみませんか？

看護部通信

私たちの身の周りには様々な色がありますが、日常の中でふと目に留まった色や何気なく選んだ色に、潜在意識が現れていることをご存知ですか？

私たちには、国や人種を超えた全人類に共通して存在する無意識（集合的無意識）があります。例えば赤はエネルギーで元気なイメージ、青は静かで落ち着いたイメージなどです。色の選び方は、その時々々の心身の状態で変化していきます。このような色の持つパワーに魅せられ、5年程前からカラーセラピーの勉強を始めました。選んだ色の意味を読み解くことで自分の潜在意識に気づき、こころのバランスがとれるようになります。

相手の話を聞いていくうちに、その人が選んだ色と潜在意識が繋がり、選んだ色の意味が見えてきます。そこが私にとって、カラーリーディングの面白さであり醍醐味なのです。

いつでも、どこでも、どなたにもカラーセッションができるように、白衣のポケットに3原色（赤青黄）の色鉛筆を忍ばせています。患者さまやご家族、一緒に働く職員、そして地域の皆さまにも、色でこころのバランスをとるお手伝いができることを目指して活動しています。気になった方はぜひお気軽に声をかけください。

血液浄化センター看護師長 村上 真弓



チーム医療を支える

コメディカル 視能訓練士

丸の切れている方向を
教えてください UC



視能訓練士は、眼科領域における有資格者として、乳幼児から高齢者まで世代を超えて皆さまの大切な目の健康を守るお手伝いをしています。

主な仕事内容は、「遠視・近視・乱視・老視といった視力や眼鏡に関する、視力検査・屈折検査」「白内障・緑内障・網膜症などの眼疾患に関する、眼圧検査・視野検査・OCT検査（眼底三次元画像解析）」です。その他にも、「線が歪んで見える」「物が2つに見える」などといった様々な症状に応じ、必要な検査を行います。

私たちの主な役割は、斜視、弱視の検査・訓練・指導です。特に生後2ヶ月から8歳頃までの小児は、視



力の発達や立体的に物を見ることができるようになる大切な時期です。発達の段階で、少しでも気になることがあれば受診をおすすめします。早期発見・治療をするためにも3歳児健診などをきちんと利用し、目の症状で気になることがあればお気軽にご相談ください。

私たち一同は、患者さまやご家族が相談しやすいように心掛け、正確な検査結果が適切な診断治療につながるように、日々精励しています。

視能訓練士 小山 香

新任医師の お知らせ

【1月1日付採用】

ふるうち ひろかず
麻酔科 古内 宏和 医師
よろしくお祈りします



12月の診療実績

1日あたりの患者数		平均在院日数	10.2日
入院	452人	手術件数	380件
外来	1,328人	救命救急センター 受診者数	1,981人
紹介率	84.4%	救急搬送件数	526件
逆紹介率	96.7%		
病床利用率	90.5%		



脳卒中の予防と治療「スピードが命」

副院長 兼 脳血管内治療センター長 兼 脳神経外科統括診療部長 市橋 鋭一 医師 としかず

食べ過ぎ、喫煙、多量飲酒、運動不足など「乱れた生活習慣」が、高血圧、糖尿病、高脂血症を招き、動脈硬化を引き起こします。さらに、この状態を放っておくと、脳梗塞や心筋梗塞など重大な病気にかかるリスクが高まります。今一度、生活習慣を見直して脳卒中などの発症予防に心がけましょう。



しかし、いろいろ気をつけていても脳卒中は起こるかもしれません。手足のしびれやめまい、ろれつが回らず会話がうまくできないなどの症状がでたら注意が必要です。

脳卒中中最も多いのが、脳の血管が詰まる「脳梗塞」です。治療法は日進月歩で進化していますが、薬剤で血栓を溶かす「t-PA療法」と、カテーテル（細い管）を用いて血管の内側から血栓を回収する「血管内治療」があります。しかし、どちらも発症後の時間制限が設けられており、t-PA療法は4時間30分、血管内治療は8時間以内の患者さまが対象です。脳卒中は早期発見・早期治療がとても重要で「スピードが命」です。脳卒中かな?と思ったら一刻も早く専門医を受診してください。



当院は脳神経外科医5人体制でチーム医療のもと24時間365日、脳卒中などに対応しています。また、知識・技術の向上はもちろん、若手医師への指導や育成にも励んでいます。

今後も、一刻を争う患者さまに質の高い医療を提供できるよう、救急隊や近隣病院の先生方、そして多職種連携の力で脳卒中に立ち向かってまいります。

◀ 林医師（右）を指導する市橋医師（中央）

第21回 医療市民講座 in 袋井

日時 3月17日（土） 午前10時～正午

演題① 「子宮頸がん検診のススメ
～早期発見の大切さ～」

講師 村上 裕介 医師（産婦人科診療部長）

その他 参加費無料・申込不要

会場 袋井市総合センター 4階大会議室
(袋井市役所の南側)

演題② 「不整脈の治療のお話」

講師 紅林 伸丈 医師（循環器内科部長）

定員 200名（先着順） 直接会場にお越しください

問合せ 中東遠総合医療センター 経営戦略室
☎0537-21-5555（代）



袋井市自主運行バスのご案内

袋井市では、中東遠総合医療センターと袋井市内を結ぶ路線バスを運行しています。1回のご乗車につき200円と大変お得に乗れますので、当院への通院やお見舞い等に、是非ご利用ください。（平日のみ運行）

バスの時刻表は、当院の総合案内前などで確認できます。

お問い合わせ先

袋井市市民協働課
☎0538-44-3125



■ 受付時間：午前7時45分～11時00分

■ 診療時間：午前8時30分～

■ 緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

Table with columns: エリア, 診療科, 診察室, 月, 火, 水, 木, 金, お知らせ. Rows include departments like 整形外科, 消化器科, 循環器内科, 脳神経外科, 神経内科, 人工透析外科, 血液内科, 総合内科, 呼吸器内科, 腎臓内科, 糖尿病・内分泌内科, 消化器内科, 麻酔科, 歯科口腔外科, 産婦人科, 泌尿器科, 皮膚科, 小児科, 眼科, 耳鼻いんこう科, 腫瘍放射線科, 血液浄化センター.

※(初)：初診、(再)：再診、(予)：予約、(紹)：紹介 ※午後予約のみ □入院患者さんへの面会時間 平日：午後1時～午後8時 土、日、祝日：午前11時～午後8時

院内報「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。